

道路インフラメンテナンスに関する取組を実施しました!!

～ 道路インフラメンテナンスの理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を推進～
道路環境課

岩手県が管理する橋梁（約2,700橋）のうち、建設後50年以上経過する橋梁の割合は現在約4割ですが、20年後には約8割と急激に上昇する見込みであり、老朽化対策が重要な課題です。

そのため、県ではインフラメンテナンスに関する更なる理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を目的に、令和元年度から「高校との協働による橋梁点検」を実施しており、令和4年度からは高校生を対象とした「道路インフラメンテナンス工事現場見学会」や「道路インフラメンテナンス勉強会」を開催しています。

今年度も、土木系の学科を有する4校と各取組を実施しましたので、紹介します。

高校との協働による橋梁点検の実施状況

年度	対象高校	実施年月日		
		現地点検	健全性診断	報告会
R7	①盛岡工業高校 土木科3年生(5人)	R7.9.11	R7.11.28	R7.12.12
	②黒沢尻工業高校 土木科3年生(5人)	R7.11.10	R7.12.8	R8.1.22
	③一関工業高校 土木科3年生(3人)	R7.11.17	R8.1.19	R8.2.9
	④花巻農業高校 環境科学科3年生(9人)	R7.10.7	R7.11.6	R7.12.9

■高校生との協働による橋梁点検

- 点検から記録までのインフラメンテナンスサイクルを、現地点検・健全性診断・報告会を通じて実習形式で学習
- 点検調書に自身の名前が残り、点検結果の発表も行うことで責任感を育む

道路インフラメンテナンス工事現場見学会の実施状況

年度	対象高校	実施年月日
R7	盛岡工業高校 土木科(1年生:35人)	令和7年8月27日
	黒沢尻工業高校 土木科(1年生:13人)	令和7年10月17日
	一関工業高校 土木科(1年生:18人)	令和7年9月10日
	花巻農業高校 環境科学科(1年生:19人)	令和7年9月25日

■道路インフラメンテナンス工事現場見学会

- 実際の補修工事現場で施工の見学や補修技術を体験し、インフラメンテナンスに関する興味を高め、将来の担い手の確保・育成を図る
- 1年生の段階からインフラメンテナンスの重要性に触れることで、土木系への進学・就職を前向きに検討するきっかけとする

道路インフラメンテナンス勉強会の実施状況

年度	対象高校	実施年月日
R7	盛岡工業高校 土木科(3年生:25人)	令和7年12月16日
	黒沢尻工業高校 土木科(2年生:23人)	令和7年10月28日
	一関工業高校 土木科(1年生:13人)	令和7年9月22日
	花巻農業高校 環境科学科(2年生:5人)	令和7年9月12日

■道路インフラメンテナンス勉強会

- クイズや写真資料を用いた“座学形式”により、道路インフラメンテナンスの必要性や重要性について深く学習
- 見学会や点検活動と組み合わせることで、知識学習と実体験が連動し、より一層理解を深める

高校生との協働による橋梁点検

高校生との協働による橋梁点検では、県の老朽化対策の取組等を学んだ後、県や建設コンサルタントの指導を受けながら、各高校2～3橋（全9橋）の「**現地点検**」を行いました。

現地点検に参加した生徒達は、ハンマーによる打音検査やクラックスケールを用いたひび割れ計測等により、橋梁の劣化状況等を熱心に点検していました。また、最新の点検技術を体験していただくため、**ドローン等の新技術**を活用した点検も実施し、生徒たちは最新の点検技術を興味深く学んでいる様子でした。

点検後、岩手県道路橋定期点検要領に基づく橋梁の「**健全性診断**」を行い、各高校から県に対し、点検成果を報告いただく「**報告会**」を開催しました。

▼現地点検



盛岡工業高校

▼健全性診断



盛岡工業高校

▼報告会



盛岡工業高校



黒沢尻工業高校



黒沢尻工業高校



黒沢尻工業高校



一関工業高校



一関工業高校



一関工業高校



花巻農業高校



花巻農業高校



花巻農業高校

道路インフラメンテナンス工事現場見学会

見学会では、序盤に老朽化対策が本格化された経緯や取組などのインフラメンテナンスについての説明を行い、その後、実際の施設を見ながら老朽化が進んだ施設の補修の進め方について学んでいただきました。

また、生徒の皆さんには、無収縮モルタルによる断面修復模擬体験や、橋梁点検車への乗車体験、自動追尾型測量機械の操作体験をしてもらったり、さらにはタブレットを用いて3Dスキャナー計測し、完成イメージを観覧してもらったりするなど、新技術を体験することで、インフラメンテナンス全体に興味を持っていただいた様子でした。



無収縮モルタルによる断面修復模擬体験
盛岡工業高校（令和7年8月27日）



橋梁点検車への乗車体験
黒沢尻工業高校（令和7年10月17日）

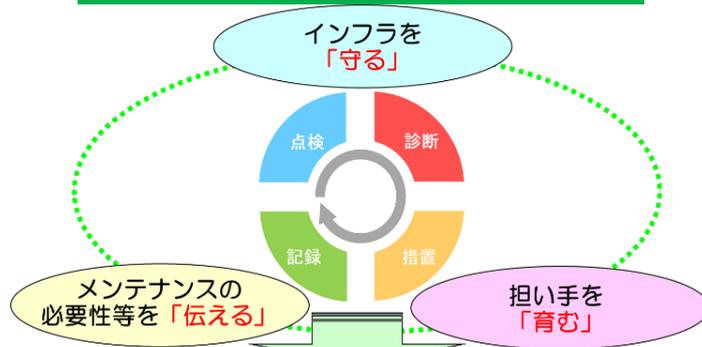


3Dスキャナー計測し、完成イメージを観覧
一関工業高校（令和7年9月10日）



自動追尾型測量機械の操作体験
花巻農業高校（令和7年9月25日）

インフラメンテナンスサイクル



持続可能なインフラメンテナンスの実現

道路インフラメンテナンス勉強会

また、勉強会では、クイズを交えながら、老朽化対策が本格化された経緯や取組、老朽化が進んだ橋梁の補修事例についても勉強しました。

参加した生徒からは「Ⅲ判定と診断される橋梁は何割くらいあるの?」「補修工事にはどのくらいお金がかかるの?」「工事の期間はどのくらい?」などのメンテナンスに関わる質問をいただき、インフラメンテナンスの理解を深めるとともに、将来の土木技術者の担い手として、興味を持っている様子でした。

道路インフラメンテナンス説明資料（表紙）



盛岡工業高校（令和7年12月16日）



黒沢尻工業高校（令和7年10月28日）



一関工業高校（令和7年9月22日）



花巻農業高校（令和7年9月12日）